

さわやか杯争奪

第14回静岡県家庭婦人バレー・ボール大会

2. 9. 2	50	29	19	98
草薙体育館				
東部				
中部				
西部				
合計				

▼新参者奮戦記

雄踏ヒューティズ 神村 敏子

チーム結成から約一年、月二回きりの練習も人の集まりがままならない。四月にチーム登録はしたものの試合のたびに九人を確保するのがひと仕事。この大会には十人集まり、まずは一安心だ。一回戦は大樹チームと対戦、自分たち以外はみな強敵と思えるが、自分たちなりの力を出して戦おうと励まし合って、いざ出陣。

チーム結成から約一年、月二回きりの練習も人の集まりがままならない。四月にチーム登録はしたものの試合のたびに九人を確保するのがひと仕事。この大会には十人集まり、まずは一安心だ。一回戦は大樹チームと対戦、自分たち以外はみな強敵と思えるが、自分たちなりの力を出して戦おうと励まし合って、いざ出陣。

まず、レシート。最強のアタッカーを抱えていても、ボールを拾つてトスを上げなければアタッカーは打てない。レシーバーは地味だが責任の重い役目は充分わかっているつもりだ。つもりだが拾えないのだ。汗が目の中にも流れ、痛い。新調のユニホームに汗がじむ。好きとはいえない暑い日によくもまあこんなことしているものだ。クーラーのきい部屋でTVを見てゴロゴロしていりやよかだったなという思いが頭の隅にちらつと浮かぶ。その時、ボールを追つてきたチームのエースアタッカーの彼女とぶつかりそうになつて支えた背中のユニホームは汗でぐっしょり濡れていた。バレーボール大好きという情熱とパワーでいつも、私たちを励まし力づけてくれる彼女の背中の汗には及ばないけれど、負けないくらいの汗をかこう。拾つて拾つて彼

女にパンパン打たせよう。暑さに負けて今を逃げようとした自分が恥ずかしいな。さあ拾おうと頑張つたけれど、やっぱりレシートの力の差かなあ、負けてしまった。

力をつけてまた来年挑戦しよう。暑い暑い夏のさわやかな汗の一日をありがとうございました。

▼優勝のよろこび

こむろクラブ

かわいらしい小学生の鼓笛隊の演奏にあわせての入場行進で始まった開会式。快い緊張感と試合に対する期待感で胸が躍つたのは、私達チームだけではなかつたと思います。Cブロックではありましたが、初出場で優勝できたことは、私達にとってこの上ない喜びでした。

今年度の私達はチーム結成以来十三年間、とても充実した年になりました。何年か前は、県大会だと思いますが、初出場で優勝で悔しい思いで伊東に帰つて來たものでした。そんな悔しい思いがチームワークの結束を強めました。そんな悔しい思いがチームワークの結束を強めました。それは、A・Bブロックの素晴らしいプレーを見ることができました。

さわやか杯に出場して、もう一つ喜びがありました。それは、A・Bブロックの素晴らしいプレーを見ることができました。

エースのアタックは勿論のこと、サーブ、レスポンスの素晴らしいこと、勉強させられるこ

とばかりでした。

伊東市内では、他のチームに負けないぞと思っていますが、まだまだ私達など未熟です。来年はBブロックで、恥ずかしくない試合が出来るよう、練習とチームワークの強化に、全員で頑張ります。

▼県大会出場の感激

修善寺クラブ 植田美津代

各地区のバレー・ボール好きが集まり、クラブを結成して二年がたちました。レクリエーションではなく、ちょっと勝敗にこだわってみようと、昨年から連盟に登録し、試合に臨みました。

しかし、結果はすべて一回戦で敗退。他のチームに比べ年齢は若いのですが、円熟した体からあふれるママさんパワーにはとてもかなわず、落ち込む一方でした。

さわやか杯は三グループ制になつていて、勝ち残らずの私達にも優勝するチャンスがあるのですが、と臨んだ東部予選。皆の気持ちが一つとなり、五試合、十三セットを勝ち抜き、念願の第一位となることができました。あこがれの草薙体育館での県大会。少々派手?な入場行進や開会式でしたが、すべてが初めてで感激もひとしおでした。

試合結果はCグループ第三位で、納得のいく内容ではありませんでしたが、他地区のすばらしいチームプレーを見ることができ、よい勉強の場となりました。

まだまだ新入生の私達ですが、皆に注目されれるチームを目指し、練習に励んでいきたいと思います。

▼さわやか杯初出場

惠俱樂部

ヨピーヒヤラ、ピーヒヤラがわいい子供達の演奏をバツクに、Cグループ東部四位の成績で、ちょっとびりてれ臭いような、そして胸の片隅には、"優勝"？の二文字をいだき、ドキドキ、ワクワクの入場行進。

顔なじみになつてきた、他のチームのメンバーや人とのあいさつも一層親しみを覚えました。会場が分かれてしまい、A・Bグループの試合が見られなかつたのが残念でした。が、私達伊佐見スカイクラブも頑張り決勝まで進めた事は、思いもかけない事でした。次の目標を持つて、やつてやれない事はない。もつともつと多くのチームの人たちと仲間になつていきたいと思いました。

▼審判のむずかしさ

浜松飛鳥クラブ 田辺磯子

「ピー・ツ」 試合終了、ほっとしました。
と言つても自分達の試合が終わつたのではない
く、私が副審をやらせてもらつた試合が終わ
つたからです。私は副審側のポールの回りで
ウロウロしていくだけで、主審の方には何の
役にも立つていなかつたのですが、自分がブ
レーをするよりも疲れてしまひました。

それでも、持ち前の気の強さ?とチームワークで何んとか乗り切り、準決勝まで進むことが出来、大感激!!
そして、いつの日か、あのデッカイ優勝カップを手にする事を夢みて……。

▼輪の中でのふれ合い

鈴木
智子

伊佐見スカイクラブ 鈴木智子
ゴムボールのバレーをしていた私が、伊佐見スカイクラブの仲間に入れていただく機会にめぐり合い、軽量、革のバレーボールへと経験を重ねることができ、数々の大会を経験させていただきました。

ルディングのとり方、線審の人達の姿勢。試合がとてもスムーズに進み、気持ち良く終わる事が出来るのです。これが本当の審判だと思いました。

これからは自分達のチームも一生懸命勉強して審判の方でも仲間入りをさせてもらえるようがんばりたいと思います。

受賞の喜び

北山婦人会 渡辺
末二

今年のさわやか杯大会へ選手として参加している中で最年長者という事で特別賞が贈られるので、県大会の閉会式に草薙の体育館へ来るようとの電話を戴き、この上ない喜びであり、また光栄である事としみじみ感じ胸が一杯になりました。

長い年月（四十年位）であります
したが、楽しいバレーをやり、融和と親睦をはかり、健康を維持して行くためには最高の運動ではないかと思って居りました。私も後輩にゆづらなくてはと思っている矢先、こんな立派な賞を戴き、まだ頑張らなくてはと心をはずませて居ります。

振り返つてみれば、私達の若い時代は練習はすべて運動場で、今のような体育館はなく、どんなに暑くとも汗とほこりにまみれての試合でした。あの頃よく、バーが出来たものだと思い、今の時代の幸せさをしみじみ感じている今日この頃です。

時代の流れはあってもハーリーは

これからも私は頑張って続けていきたい
と思います。

最後になりましたが、コカ・コーラボ
トリング株式会社様には、素晴らしい記
念品を戴き、生涯忘れる事の出来ないよ
い想い出となりました。ほんとうに有難
うございました。

さわやか杯「特別賞」を戴いて

卷之三

明るく・楽しく・美しく 大会に参加して思うこと

島田スポーツクラブ

富塚クラブ

宮本加代子

全国大会県予選で準優勝することができました。今年一月にクラブを結成したばかりで、ここまで勝ち進むとは思ってもみませんでした。

アタッカー中心のチームですから、もしかしたらと、いう期待はありました。

真田杯後、みんなの練習に熱が入ってきたことは確かです。しかしクラブ員の年齢が若いため、子供連れの練習です。子供が健康な時はよいのですが、そうでない時はどうしてもお休みになってしまい、仕事をもつている人が多いので会社との板ばさみになつたりで、全員が練習日にそろうことがなかなかできませんでした。時には子供の数の方がクラブ員より多くて、苦笑することもあります。

中部・県予選と両日出場できる選手確保も、家庭・地域の行事、家族の健康状態とともにむずかしいことでした。十五名の選手登録になればよいなあと、ぐくづく思いました。それ以後をのがす原因になつてしましました。それに、六人制バレー経験者が多いため、オーバーネットを数多くとられたことも反省の一つです。

一つ一つの問題をお互いに注意しあつて、よい方向へもつていき、「来年は全国大会へ」の合言葉を目標にチーム全員、新たに燃えています。

中学時代にバレーをやつて以来、富塚クラブに入部してまだ半年です。

地区大会では、必ず入賞してあの草薙の体育馆でプレーをしたい、その一念で一生懸命練習をし、そのかいあって地区大会では七位はありましたが、県大会への出場権を得る事ができました。

待ちに待つた日が来ました。主人に子供をお願いをして「お母さん今日は頑張つて来るからお留守番をお願いね」と家を後にしました。

まず会場に着くなり驚きました。四面の広いコート、さすが大きく、どの選手を見ても堂々として強そうに見えました。「さあー私も頑張るぞ」と自分に言い聞かせました。

試合が始まりコートに入り、バーボールのホイップスルを聞きましたが、いつもの雰囲気と違ひ緊張しながらの試合で気分的に疲れてしまい、気が付いたら、あつという間に富塚パワーが出ない前に多くの反省点を残して試合が終わっていました。

どの試合も素晴らしいラリーの連続で、ため息が出ました。自分が思っていた「楽しみながらやる、ママさんバレー」とはほど遠く、さすが県大会だなーと思いました。

学ぶものが沢山あり、まだまだ未熟者なので皆さんから御指導を受けて、来年もまたこの草薙の会場でプレーが出来る事を心に誓いました。

思いがけない特別賞

(婦人の部)

水ヶ谷チーム 太田 廣美

私達のチームは、白いシャツと紺のショートパンツがユニフォームです。

少し恥ずかしいけれど、皆ではけば怖くない、動きやすさが第一をモットーとして、プレーは下手ですが、気持だけは前向きに一生懸命試合をしました。しかし結果は全敗…。やはり身の程知らずかも知れないと落ち込んでいましたが、そんな時、会長から思ひも掛けない「さわやか賞」を頂いたのです。

元々、内のチームは経験者もなく、この土地へ来て初めてバーボールをやってみて好きになつた人達ばかりの集まりですから、他チームのようになるまでには、まだまだ先が長いと思います。けれどもバレーをやるからには、そんな甘い気持ではいられません。精一杯練習したいと思います。そのためにも出来るだけ家庭に迷惑をかけずに、良い雰囲気で練習させてもらえるように努力して、月三回の限られた時間を有効に使い、早く自分なりに納得したゲームをしたいと思います。

そんな意味で、今回のさわやか賞は、内にチームに取つて大変な励みになりました。会長の温かいお人柄に感謝して、今一度、さわやか賞の意義を考え、さわやかな人間関係と、さわやかなチーム作りに心掛けたいと思ひます。



ボールを拾い心をつなぐ

(婦人の部)

たつかわ愛クラブ

愛クラブを結成して三年目、西部大会に出場して二回目、優勝できるなんて夢のような気持ちです。「たかが西部大会じゃないか、もっと強いチームがあるんだ。たまたまこの大会に出場できなかつただけなのに有頂天になるなよ」とどこかでそういう声が聞こえます。でも私達愛の若いメンバーはいつも目的を持ち練習に励み、出場する大会で力いっぱいプレーをし、その成果をみることを楽しみに戦います。決して優勝だけをみつめるのでなく、指導者の教えを守り、ボールを床に落さないようにみんなで声掛けし相手コートに返す、追い込まれたら抜き返すファイトを体全般に表わし、チームのみんなが一つの心となり苦しくとも楽しいプレーをするんだという気持ちで対戦しています。今度の優勝も一試合一試合思いを込めて戦った成果だと信じています。

最後にチームの家族の方々の愛チームに対する暖かい思いやりと縁の下の力持ちとなつて下さった地域の方々にお礼を申し上げたいと思います。

思いやりの心にふれながら心身共にこの愛クラブが飛躍できたら最高だと思います。そんなチーム作りを心掛け、バレーボールを通して地域に貢献できるよう努力していきたいと思います。

愛クラブ、ベンザイ!!

はじめての参加

(家庭婦人の部未登録)

稻葉圭子

富士市以外の大会に参加するのは、今のメンバーになってはじめてのことなので、困ったことや驚いたことなど数多くありました。とてもよい勉強をさせて頂きました。

監督が家庭婦人に限られていることで、主人が監督をしている我がチームでは、メンバーもギリギリのため、監督の席が空席になってしまった。タイムを取る合図を見のがしてはと、ベンチの方が気になつて仕方ありませんでした。

そしてユニホームのズボンの色が揃つてなくて注意を受け、揃えるまでの大会役員の方々の毅然とした態度に敬服するやら驚くやら試合の始まる前からハラハラの仕通しでした。プレーの方はなんとか順調に勝ち進むことができましたが、決勝戦では、相手チームにケガ人が出るというハブニングに、人ごとと思えないだけに手放しでは喜び切れない優勝でした。

同じ家庭婦人として、ケガ人もなく、いつもより長い道のりで事故もなく、全員無事に家に帰れたことにホッとしたのは、多分どのチームの皆さんも同じだったと思います。

チームの宝であるチームワークのよさを武器に、チャンスがあれば、又参加させて頂きたいと思って、練習に励んでいます。

年長者に敬服

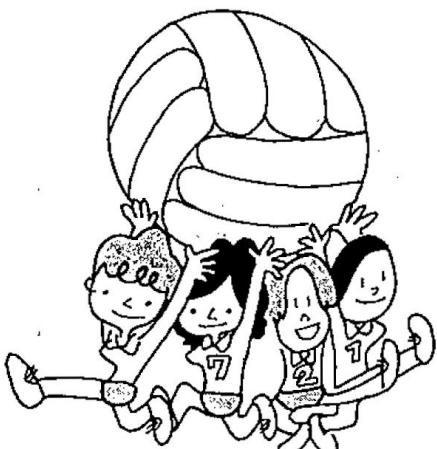
(家庭婦人の部未登録)

光陽クラブ 金井

七月に行われた県家庭婦人未登録バレーボール大会に、今年も参加させていただきました。昨年は、最後に力尽きて敗れてしましましたが、今年は若手が加わり優勝する事ができ、昨年の屈辱を果しました。

家庭婦人の大会でいつも驚くのは、年配と言つては失礼かもしれませんが、年配の方のプレーが多い事です。今回の相手チームもそうです。一番若い人が、我々のチームの最年長者と同じというのです。あれだけのプレーをいつまでも続けられるなんてすばらしい事でうらやましい限りです。

我々も色々問題はあります、できるだけ長くプレーを続けて行きたいと思います。大会に参加し、色々な面で刺激を受け、又勉強になりました。



★審判講習会

期日 5月26・27日

会場 静岡市長田体育館

講師 日本バレーボール協会

瀬藤 好男 先生

参加人員 愛知・三重・岐阜各県
8名、静岡県16名、計40名

審判の厳しさ、大切さ、難しさ
を身にしみて体験し、努力をして
いる人たちが集まつての講習会。
曾根田審判委員長と各県審判委員
長が講師補佐として指導にあたる。
一泊しての講習会、受講生の熱意
には頭の下がる一日間でした。

★指導者講習会

期日 8月19日

会場 静岡市長田体育館

講師 日本バレー・ボール協会

成田 明彦 先生

吉田 和夫 先生

参加人員 愛知・三重・岐阜各県
10名、静岡県70名、計100名

。良き指導者とは

。ソフトバレー・ボールの実技
。バレー・ボールのワンポイントレ
ッスン

午前中は講義、午後は実技と充
実した講習会でした。

受講生の感想

細江クラブ 林 あつ子

午前中の成田先生のお話は、生涯スポーツ
となるには、

一、自らプレー（健康）

二、組織の役員として活動（奉仕）

三、リーダーとして貢献（感謝）

以上三つのことを考え、組織の一員として参
加することが必要と言わされました。

吉田先生からソフトバレーの実技を受けま
した。見るとプレーするのは大ちがい、簡
単そうに見えてもはずんでしまって珍プレー
続発、他県対静岡チームで大いに楽しみまし
た。

午後は成田先生からバスの仕方、基本姿勢
の説明を受けたのですが、改めてそのむずか
しさを知りました。ひじの高さがバスを左右
手をあげ手首だけで方向を変えることなど、
当たり前のことでも一度考えてみることが出
来ました。前傾姿勢をしてレシーブしている
つもりなのですが、実際は、重力がおしりに
味方してあまりカッコイイといえないことも
わかりました。

最後に、部分的に使う体操を教えて頂きま
した。私たち細江クラブでは、早速習つたも
のを取り入れてみんなで実践しています。

山家ブロック長の挨拶の中に「若さは、年
齢ではない」という言葉がありました。最近

忘れかけていたと思いハッとさせられました。
喜怒哀楽が薄くなり、物事を惰性で行って
いたような気がします。

講義では、これから家庭婦人大会は、生
涯スポーツに向けて、広い視野から、社会性
を考え、ひとりひとりが、何をどうするか、
リーダーとしての役割を自覚し、根気強く最
後までやり遂げることが大事であると、話し
て下さいました。

実技では、高度なプレーはオーバーパスか
ら始まる。簡単な事をいかに正確に、方向、
距離、高さと、常に目標にバス出来るか練習
する。レシーブでは、ボールをとる人が必ず
「ハイ」と意志表示を早めに行う事など、こ
んな当たり前の事が、実際にはなかなか行なわ
れていない。基本姿勢にしても、守られてい
ない部分が多いと思いました。

講習会に参加させていただき、今後の目標
がわかつたような気がします。また、他県の
方々の熱心な意気込みを感じる事が出来、
ほんとうに勉強になりました。

清水シースカイB 石橋志津枝

成田先生が、家庭婦人バレー・ボールは女性
スポーツの華であり、範であると申されました。
正しくその通りだと思いました。地域の
中において、年間を通じて行われているス
ポーツといえれば、バレー・ボールをおいて他にな
いということをみれば当然のことと思えます。

現在私はPTAの役員もやらさせて頂いて
いるのですが、いろいろな人と交わりの中
で摩擦や葛藤も確かにあり、自分の未熟さも
感じこのごろですが、愛情・根気・情熱を

もって乗り越え、活動する喜び、社会性、奉仕の精神を培つてゆくようにも教えて頂きました。小さな私ではありますが、少しでも輪を広げてゆけたらしいのになあと思いまし

た。

講義の後は、ソフトバーボールの実技に移り、楽しく汗を流しました。これは、だれにもできるスポーツを通じて底辺を広げるべく考え出されたものだけあって、慣れないボールを追いかけてゆくうちに、他のチームの方々、他県の方々と和気あいあいとした時間をすごすことができたよう思いました。

午後からは、バーボールのワンポイントレッスンを受け、基本プレー、声を出すこと、

チームの決まりごと等々、心にしみ入る教えを多々受け、ほんとうに楽しく、有意義な一日であったと、感謝の気持ちでいっぱいです。

県の講習会に参加して

◎バーボール教室に参加して

御殿場マザース 庄司 東栄

小倉 耀子

外山先生と高木先生のユーモアと人間味のあふれるお二人の先生方の御指導で、種々の要素がとり入れられた準備運動から始まり

(本当はあれだけでもうたくさんという気持になりましたが……)、オーバーパスの基本を

みつかり。手の位置・構え・手に身体をつけ、低い姿勢で素早くボールの下に入る等、分つてはいてもその為にどんな練習方法があるかなど大変参考になり、蹲踞の姿勢という薄学の身には耳なれない言葉もあつたりして、剣

道から来ている言葉と教えて頂き納得しました。そして極めつけはオーバーパスのみによるゲームでした。

とかく惰性に流れ易い日常の練習の中でも、いかに無精をして横着をしていたかを思い知らされた感じです。当然の事ながらオーバーパスのみを意識する事によって、素早い動き、状況判断とヨミが要求され低い姿勢を持続せざるを得ません。是非これからチームの練習の中にも応用させて頂きたいと思いました。そして次回には監督をはじめとして、もつと大勢のチームの仲間と参加したいものです。

愛鷹クラブ 前野加寿子

今回はほとんどの人が申し出てくれて、チームを作つての参加となつた。

毎回の事ながら、アップにかける時間の多さにびっくりかつ、感心。しかも楽しみながら時間がすぎてゆく。

今までの練習内容をふり返つてみると「目的のない練習」が多く、対人パス一つを取りあげてみても、ただ返すだけで、どこにどのようなパスを返したら相手が次のプレーにならうことができるかという事を忘れがちで、その点アンダーパスとオーバーパスの組み合わせの練習はとても有意義と感心してしまう。

今回の講師の両先生の御指導はそんな点一つ取りあげてもとてもわかりやすく、すぐに実践に結びつく事が多くて夢中になつた。

男性コーチ不在のチームとなつて約一年、今まで無我夢中ですぎて来たけれど、いつかは技術的な面での壁にぶつかる時が来ると

思うが、そんな壁を一つ一つ乗り越えるためにも今後、全員での参加を目標にがんばろうと決意を新たにした意義ある一日だった。

沼津原クラブ 庄司 順子

日曜日が休みでない職場ゆえ、思うように講習会に参加出来ず、休みがとれた時に、東部や沼津の講習会に参加させていただいているが、ここ数年の講習会の厳しいこと、かなり内気でないと思ってる私でさえ「いやだなあー。また、怒られるだらうなあー」と思いながら講習会を受けています。

今年も、たまたま六月三日、東部の講習会に参加させていただきました。その開講式で

の、綾部会長の挨拶に、私は感動しました。六月といえば、農家は田植でもっとも忙しい時期、当日も朝早くより苗を取り、田に運ぶ作業の途中、仕事を中止して来て下さり、手やズボンに泥が少し付いての挨拶ですー。

近所の人が、「どうしてお宅の苗はそんなにすばらしい苗なのかねえー、毎年毎年感心するよ」と。綾部会長いわく、「僕は愛情をもつて苗作りをしているからだよ……」といふ話をしながら、何ごとも愛情をもつて対処することの大切さを話して下さいました。

これは、ただ単に苗作りの話だけでなく、人生観だと私は思いました。各種の大会や講習会、何ごとも熱心に、生半可な態度でなく一生懸命に対処する姿勢には、いつもいつも頭が下がる思いでした。

会長の情熱をお手本として、私も審判の難しさを少しでも克服して頑張つていこうと思います。

平成2年度 県大会成績

月日	大会名	1位	2位	3位
4/22	真田杯	Aグループ 掛川飛翔クラブ	清水シースカイA	清水西クラブ
		Bグループ 清水シースカイB	曳馬クラブ	はごろもクラブ
		Cグループ 島田スポーツクラブ	あかつきクラブ	五和クラブ
6/10	全国大会県予選	清水飯田クラブ	島田スポーツクラブ	はごろもクラブ
6/24	東海大会県予選	島田スポーツクラブ	長泉クラブ	清水シースカイA
9/2	さわやか杯 県大会	Aグループ 掛川飛翔クラブ	長泉クラブ	清水飯田クラブ
		Bグループ 清水シースカイB	曳馬クラブ	湖西スマイルクラブ
		Cグループ こむろクラブ	横柄俱楽部	修善寺クラブ
10/28	県選手権大会	掛川飛翔クラブ	清水西クラブ	清水シースカイA
				島田スポーツクラブ

◆第16回 静岡県家庭婦人バレー選手権大会

平成2年10月28日(日) 県営草薙体育馆

寸評

各地区代表 24チームにより、第一試合から決勝戦まで、一つのボールをつなぐことに9人が、そしてベンチが一体となって見応えのある試合が繰り広げられました。

自分にあたえられたポジションの責任を真剣に果すそのプレー中のおかあさんの姿は、応援している多くの子供さん達にとって素晴らしい教育の実践の場にもなっていると思います。

第17回 東海家庭婦人 バレー選手権大会

平成2年11月4日(日) 岐阜市西部体育馆

島田スポーツクラブ 第3位

長泉クラブ 1回戦惜敗

1回戦で惜敗したとはいえ、長泉クラブのレシーブ陣は、大会唯一と思われるほどの見事な活躍を見せ、観戦している多くの人達の賞賛の的となりました。

平成2年度 当連盟に対し厚いご支援を下さった共催・後援・協賛各社

- 真田杯……株式会社サッポロビール
- さわやか杯……株式会社富士コカ・コーラ・ボトリング、株式会社テレビ静岡
- 全国家庭婦人バレー選手権大会県予選……朝日新聞社、株式会社住友海上火災保険、けんみんテレビ
- 県選手権大会……けんみんテレビ、株式会社ゴト一

ありがとうございました。

◆編集後記

清水飯田クラブが全国大会D組優勝、はじめての県予選を持ったいそじ大会、東海家婦連の行事、指導者講習会と審判講習会、あっという間にすぎてしまった前半でした。

皆さんから寄せられた記事も、ママさんバレーの本質にふれるものが多く、真面目に真剣に取り組んでいる姿に感服いたしました。

今回は10号という節目の連盟だよりの発行となりました。多くの方々より寄稿いただきました。紙面の都合で一部カットさせていただきました箇所がありますことをお詫びすると共に、ご協力に対し心よりお礼を申し上げます。
(様)

第2回全国家庭婦人バレー選手権 いそじ大会

11月15・16日 松山市

県代表決定 <静岡クラブ>

予選参加数 5チーム

- 静岡クラブ
- 三下バレー同好会
- レモンズ
- 駒形トペーズ
- 島田スポーツクラブ

◎ 同日併せて開催いたしました第2回シニア大会は80名が参加。昨年同様の楽しい一日となりました。隣りのコートで行われていた全国いそじ大会の予選をみて、来年は私たちも全国大会を目指そうといそじの娘さんたちは張り切っていました。